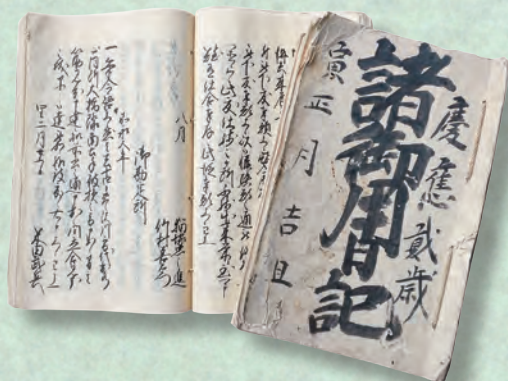


花巻歴史探訪 [郷土ゆかりの文化財編]

Trace the history of Hanamaki



▲猫塚家に伝わった古文書「諸御用日記」

猫塚家文書 諸御用日記

工事を中心とした
日記形式の古文書

◆問い合わせ

花巻新渡戸記念館 ☎ 31-2120

●花巻新渡戸記念館では、共同企画展「へるつと花巻・再発見！」で「猫塚家」を紹介します。詳しくは9ページをご覧ください

※「諸御用日記」と明和8(1771)年の冊子(水路・ため池等書留)を含めた33冊が平成30年、「猫塚家 諸御用日記」として花巻市指定文化財(古文書)に指定されました

「諸御用日記」と明和8(1771)年の冊子(水路・ため池等書留)を含めた33冊が平成30年、「猫塚家 諸御用日記」として花巻市指定文化財(古文書)に指定されました

代々新田開発で活躍した猫塚家に伝わった古文書の一つ「諸御用日記」は、文化2(1805)年から慶応3(1867)年までのものがあります。花巻地方の新田開発の先駆者・奥寺八左エ門の要請により、猫塚家は寛文年間(1661～1672年)に秋田の阿仁銅山から二子通北笹間村猫塚(現笹間地区)へ移り住んだと伝えられています。また、苗字帯刀を許された家柄で、農業土木関係の技術を持って盛岡藩へ仕えました。

5代目・猫塚彦四郎(1784～1853年)とその長男・忠之進(1808～1869年)が開墾や河川改修の土木普請工事に数多く携わり、日記形式で記録しました。日記には新田開発、穴堰の工事・修復、植林、河川工事、架橋の設計や工事の様子、幕末期の米価の高騰といった経済事情まで書かれており、当時の花巻地方を知る上で貴重な資料です。

※「諸御用日記」と明和8(1771)年の冊子(水路・ため池等書留)を含めた33冊が平成30年、「猫塚家 諸御用日記」として花巻市指定文化財(古文書)に指定されました

*花巻新渡戸記念館が所蔵している「諸御用日記」は、欠本や分冊などがあります

花巻市 10月のデータ (10月31日現在)

■人 口=94,572人(男45,160人、女49,412人)

■世帯数=38,054世帯

○前年同期

人 口=95,415人(男45,503人、女49,912人)

世帯数=37,772世帯

※人口・世帯数について詳しくは、本館市民登録課(☎41-3547)へ

10月 (本年累計・前年同期累計比)

■交通事故=人身事故/ 14件 (115件・-26件)
死者/ 0人 (0人・-2人)
負傷者/ 20人 (137人・-32人)

■火災=火災件数/ 2件 (38件・-13件)
焼死者/ 0人 (2人・-1人)

■救急活動=出動件数/328件 (3,028件・-267件)
搬送人員/308人 (2,763人・-197人)

No.343 令和2年(2020)11月15日発行

[毎月1日・15日発行]

発行●花巻市 ☎025-8601 岩手県花巻市花城町9番30号

☎0193-24-2111

編集●総合政策部秘書政策課

印刷●川嶋印刷株式会社

●花巻市ホームページアドレス

<https://www.city.hanamaki.iwate.jp>

●花巻市公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/city.hanamaki>

●花巻市公式ツイッター

https://twitter.com/city_hanamaki



広報はなまき

一次回一

12月1日発行予定

古紙を配合した再生紙を使用しています

